

第2号様式（第3条関係）

所属長印		特別急行列車等利用届	
職		年 月 日受理	
通勤手当に関する規則第3条第2項、第3項又は第4項の規定に基づき届け出ます。			
略		通勤経路の略図（Aの場合の経路を朱線で、Bの場合の経路を青線で記入すること。）	
<p>〔記入上の注意〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 「届出事由」欄には、該当する□に△印を付すこと。 この届けに係る定期券の通用期間満了後、引き続いて通用区間及び通用期間の月数が同一の特別急行列車用定期券を利用する場合は、「届出事由」欄の継続に係る□に△印を付し、※印の欄（A欄にあっては、当該定期券による通勤の経路に限る。）を記入すること。 「通勤方法の別」欄には、通勤の経路に従い、徒歩、自動車、電車（○○線）、特急列車（○○線）等の別を記入すること。 往路と帰路とが異なる場合は、両者を区分して記入し、「備考」欄にその理由を記入すること。 有料の道路を利用する場合は、「区間」欄に經由する有料の道路の名称を記入し、「備考」欄に「有料道路」と記入し、「乗車券等の種類」欄及び「左欄の乗車券等の額」欄は記入しないこと。 「乗車券等の種類」欄には、○箇月定期券、乗車券の別を記入し、乗車券等の種類が定期券である場合は、「備考」欄に当該定期券の通用期間の開始日を記入すること。 「左欄の乗車券等の額」欄には、定期券の額（特別料金等相当額に限る。）を記入すること。 受理年月日及び太線枠内は、決定者において記入する。 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。 任命権者がいないと認められた場合は、「通勤経路の略図」欄への記入を省略することができる。 			
定期券の月数	定期券の額	円	
異動日付	(西暦4桁)	年 月 日	
返納	返納対象支給基準日	(西暦4桁) 年 月 日	
	返納額	円	
	(確定支給額)	(円)	
上記のとおり決定する。			

第2号様式（第3条関係）

所属長印		特別急行列車等利用届	
職		年 月 日受理	
通勤手当に関する規則第3条第2項、第3項又は第4項の規定に基づき届け出ます。			
略		通勤経路の略図（Aの場合の経路を朱線で、Bの場合の経路を青線で記入すること。）	
<p>〔記入上の注意〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 「届出事由」欄には、該当する□に△印を付すこと。 この届けに係る定期券の通用期間満了後、引き続いて通用区間及び通用期間の月数が同一の特別急行列車用定期券を利用する場合は、「届出事由」欄の継続に係る□に△印を付し、※印の欄（A欄にあっては、当該定期券による通勤の経路に限る。）を記入すること。 「通勤方法の別」欄には、通勤の経路に従い、徒歩、自動車、電車（○○線）、特急列車（○○線）等の別を記入すること。 往路と帰路とが異なる場合は、両者を区分して記入し、「備考」欄にその理由を記入すること。 有料の道路を利用する場合は、「区間」欄に經由する有料の道路の名称を記入し、「備考」欄に「有料道路」と記入し、「乗車券等の種類」欄及び「左欄の乗車券等の額」欄は記入しないこと。 「乗車券等の種類」欄には、○箇月定期券、乗車券の別を記入し、乗車券等の種類が定期券である場合は、「備考」欄に当該定期券の通用期間の開始日を記入すること。 「左欄の乗車券等の額」欄には、定期券の額（特別料金等相当額に限る。）を記入すること。 受理年月日及び太線枠内は、決定者において記入する。 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。 			
定期券の月数	定期券の額	円	
異動日付	(西暦4桁)	年 月 日	
返納	返納対象支給基準日	(西暦4桁) 年 月 日	
	返納額	円	
	(確定支給額)	(円)	
上記のとおり決定する。			

附 則

- この規則は、公布の日から施行する。
- 改正前の第1号様式及び第2号様式による用紙は、当分の間、使用することができる。